

# 「公共施設マネジメント」とは？

- 公共施設とは・・・別府市が持っている建物などのことです。  
みなさんが毎日使っている、学校・幼稚園・保育所・体育館・地区公民館・市営温泉など、いろいろなものがあります。
- 別府市が持っている公共施設の延床面積は 504,851 m<sup>2</sup>です。  
※どのくらいかということ、大体・・・



× **39個分** です！

(甲子園球場グラウンド)

- 市民1人あたりが持っている、公有施設の床面積は 4.17 m<sup>2</sup>/人となります。

## 人口1人あたり保有床面積の比較

|      |                        |
|------|------------------------|
| 全国平均 | 3.78 m <sup>2</sup> /人 |
| 別府市  | 4.17 m <sup>2</sup> /人 |

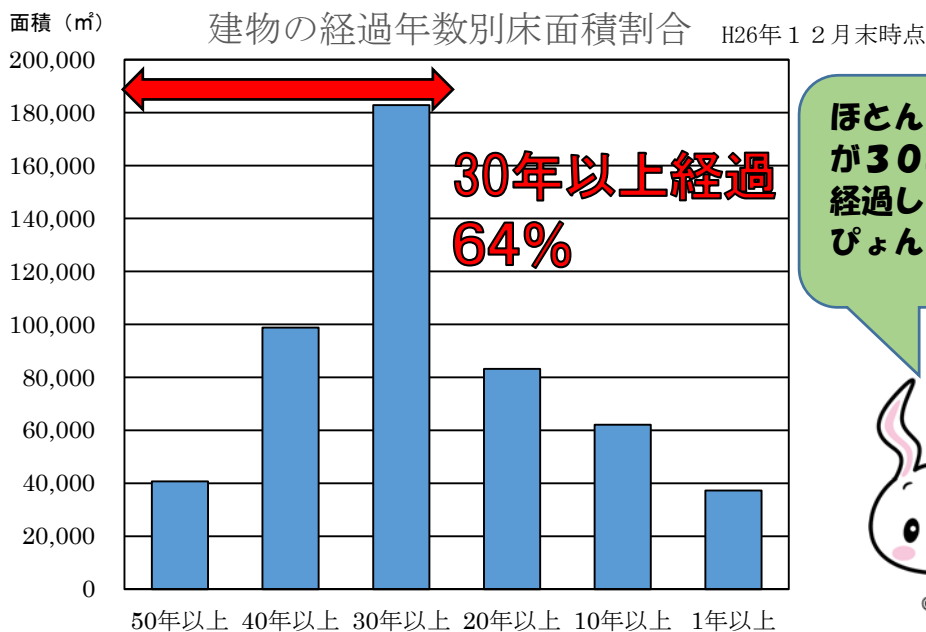
全国平均は、H24年総務省「公共施設状況調」と住民基本台帳人口  
別府市は平成26年12月時点での数値



ちょっと多すぎ  
だぴょん

©Team Beppyon

- 建築後 30 年以上経過している建物が、全体の 64% を占めています。



ほとんどの建物が30年以上経過している  
ぴょん



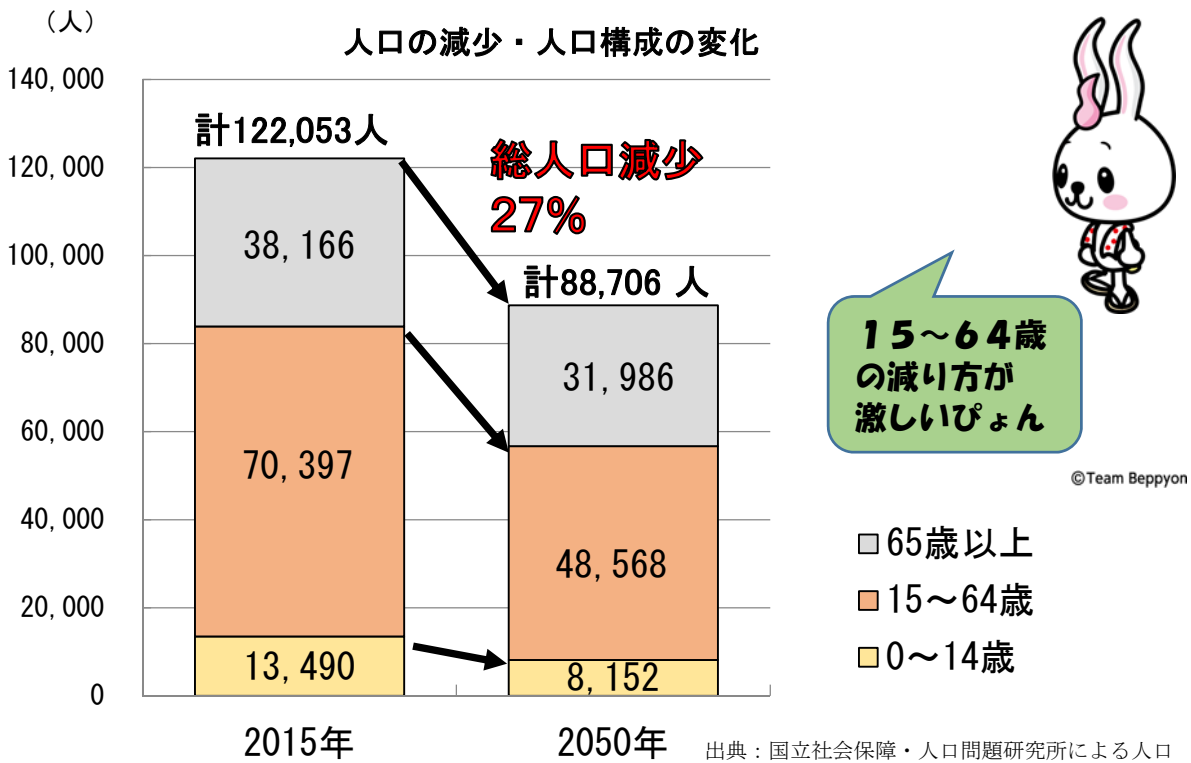
©Team Beppyon

※建物の寿命は大体60年ぐらいなので、寿命の半分以上経った建物が、6割以上です。

- 市の人口は減少傾向にあり、現在約 12 万人の人口が 20 年後には 10 万人を下回ると

予想され、一層の少子高齢化の進展も予想されます。

- このグラフからは、働く世代が3割以上も、減ることもわかります。



- この施設をこのまま維持していくと、年間に 44.4 億円も必要です。これは、施設管理などに使っている今の予算のほぼ 2 倍です。
- 当然、建替えが必要な施設も、出てきます。
- このままでは、次世代（今の若者や、子供たち）に、大きな負担を背負わせることになります。
- 限られた財源のなかで、どんなことができるのか？  
今、施設の今後のあり方を改めて検討する必要があります。



**どうすれば、次世代に、必要な公共施設を残せるのか？  
その方法を考えて、実行するのが、「公共施設マネジメント」です！**

- 例えば
- ・ 計画的な建物のメンテナンスをして、長持ちさせる。
  - ・ いくつかある施設を、1か所にまとめて、経費を減らす。
  - ・ 人件費や光熱費など、施設管理にかかっている経費の無駄を見直す。
  - ・ 使用料などの見直しをして、各施設の収入を増やすなど

**別府市は、次世代の負担を減らし、持続可能な公共施設を残していく取組みとして「公共施設マネジメント」に取り組んでいきます。**

ご協力をお願いします。